

ougiyama roujin club
扇山老人クラブ

先人の想いを胸に 生きがい活動を継承



▲老人クラブ創立50周年記念式が開催され、歴代の会長に表彰状が贈られる

昭 和39年1月に設立され、今年50周年を迎えた扇山老人クラブ(吉田薫会長)。1月には、その記念式典が扇山公民会館で開催され、会員や関係者が集まる中、先人たちの偉業を称えました。50周年の記念誌を手作りで作成した吉田会長は「お年寄りの生きがいを作るために活動してきた先人たちの思いを継承していきたい」と歴史を振り返りながら、さらなる飛躍を誓いました。

現在の会員数は48人で、主に扇山公民会館を拠点とした地域活動を行っています。特に「扇

また、扇山神社の境内の草刈りに参加するなど、地域住民との共同作業でも汗を流し、自分たちができる範囲で地域活動に力添えをしています。

月1回は会員が集まり、パークゴルフや研修旅行などで、コミュニケーションを図りながら楽しく活動をしている扇山老人クラブ。吉田会長は「会員数は少ないですが、自分たちができる範囲で地域のみなさんと一緒に活動を継続しながら、絆を深めていきたい」と高齢化社会が進む中、老人クラブとしての活動や役割に対する想いを聞かせてくれました。

山の森」と呼ばれている樹木園やグラウンドなどの会館周辺の環境整備は、老人クラブが昔から受け継いできた地域貢献活動の一つで、毎年定期的に行われています。「何事も楽しまなければならぬ」と思う。地域貢献活動など、いろいろな活動することで自分たちの生きがいになり励みにもなります」と吉田会長は話します。

